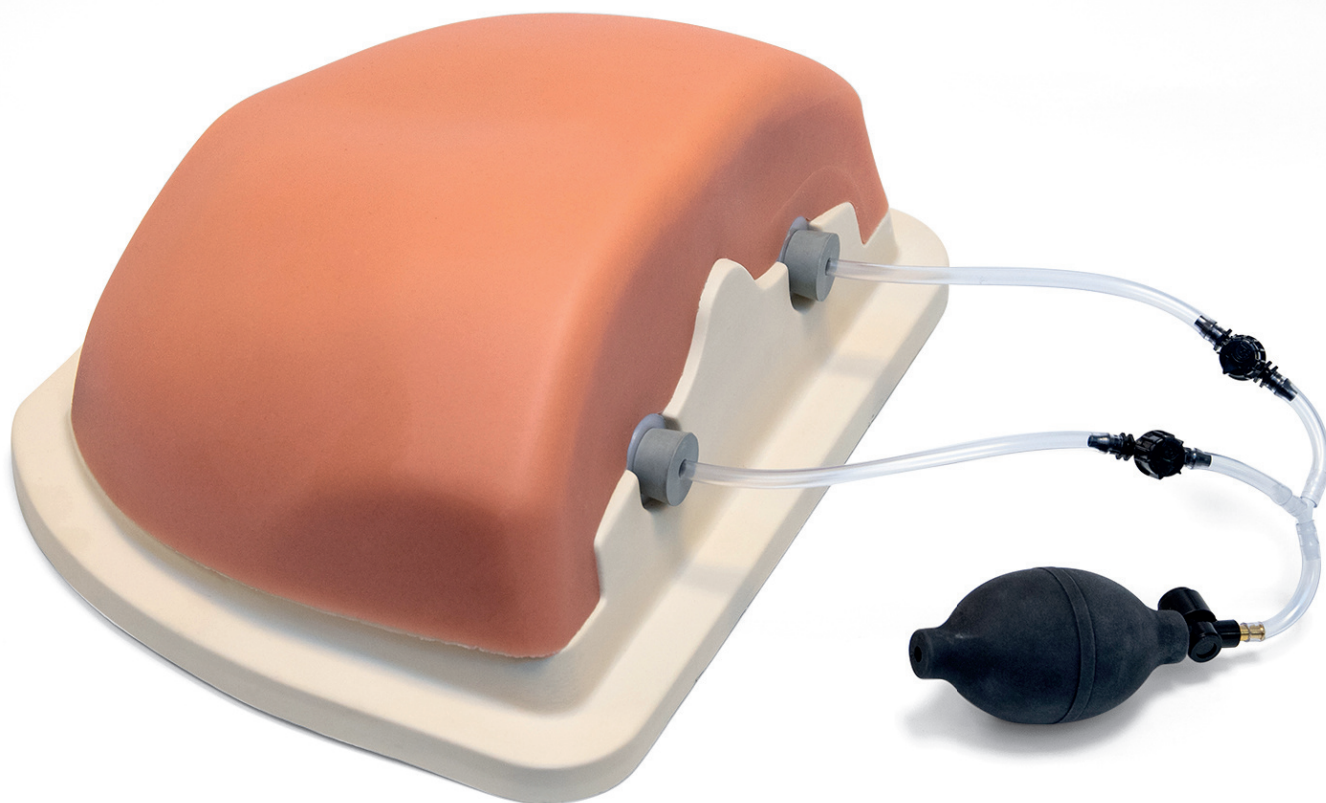


レントゲン透視下胸椎穿刺トレーナー

P66 | 1021899



イメージング技術のシミュレーション教材として、御遺体標本より安定的で経済的な本製品は、扱いも簡単で、必要なときにいつでもお役立ていただけます。

- 生体に準じた不透過性によりリアルなX線画像の撮影が可能
- リアルな穿刺の感触（棘突起 T3-T8）
- 解剖学的に忠実な骨格構造（第3-8肋骨）
- 視覚的にも識別できるランドマーク

レントゲン透視下胸椎部穿刺を学ぶための理想的なシミュレーターとして、穿刺痕は自然と塞がるため繰り返し穿刺の練習ができます。

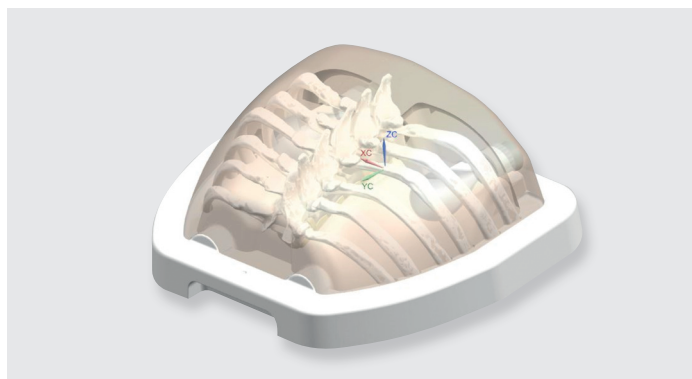
本製品で練習できる技術：

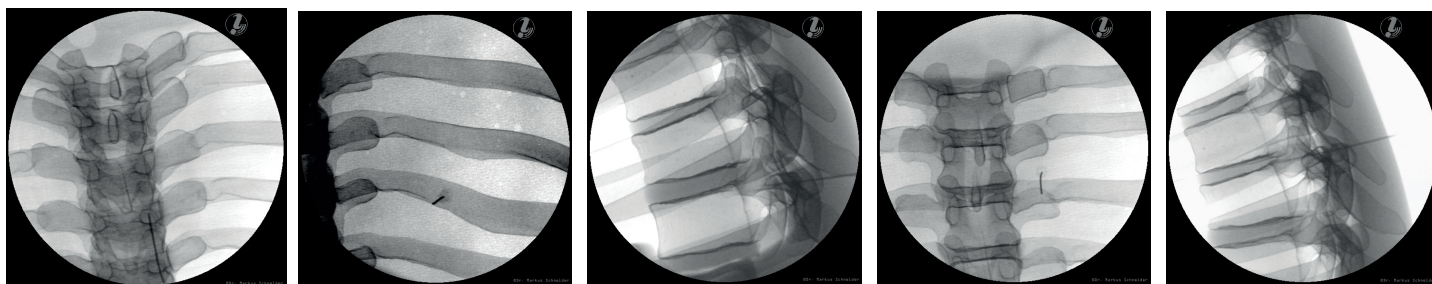
- ランドマークによる穿刺位置の確認
- 経椎弓間硬膜外ブロック
- 経椎間孔硬膜外ブロック
- 椎間関節ブロック
- 内側枝ブロック
- 関節内注射
- 肋間神経ブロック（ICNB）



ご注意：

本製品は、レントゲン透視下穿刺用であり、触診トレーニングを目的に設計されたものではありません。棘突起部への反復的な触診や、必要以上に強い圧迫は、皮膚素材を破損させることがあります。





関節内穿刺

肋間神経ブロック

経椎弓間硬膜外ブロック

内側枝ブロック

経椎間孔硬膜外ブロック

画像はイメージ・コンバーターを組み合わせたX線装置で撮影

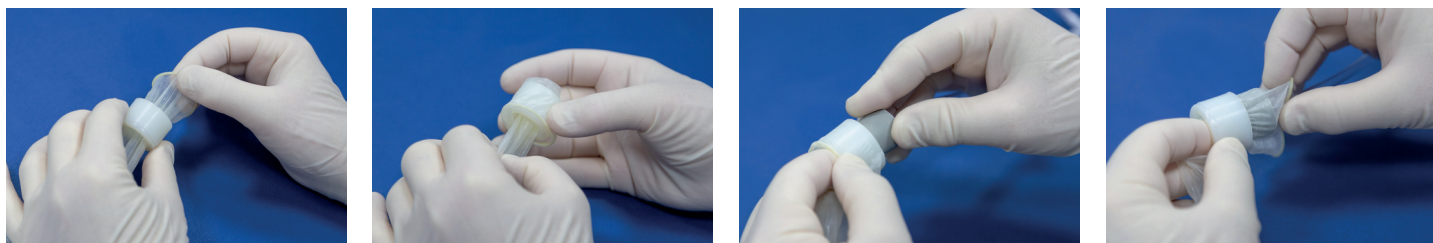
References : Instrumentarium Imaging ZIEHM VISTA

Max KVP : 110kV, Total filtration 4.0 mm AL

Focal spot : 0.5/ 1.5

© Dr. Markus Schneider, Bamberg

▶ 模擬肺の交換



交換用の模擬肺をご注文される際の品番 : 1019307



大切なお願い :

製品を長くお使いいただけるよう、トレーナーに穿刺するときはその都度、必ず付属の潤滑剤を針に塗ってください。また、トレーナー内に液体や造影剤を注入しないでください。

▶ お手入れ方法

トレーナーの汚れは水を絞った布でやさしく拭き取ってください。水分が乾いたら、付属のタルクパウダーを振りかけてトレーナーの皮膚表面全体に広げ、保護カバーをかぶせた状態で専用箱に入れて保管してください。また、保管時は皮膚を骨格構造から分離せず、組み立てられた状態を保ってください。

▶ ご利用環境

製品へのダメージを抑えるため、ご使用と保管は下記の温度範囲内の環境をお願いします。

使用温度範囲 0℃ ~ 30℃

保管温度範囲 -10℃ ~ 30℃

REACH規則 (EC) No.1907/2006で規制されている化学物質は、本製品に使用されておりません。

▶ 技術データ

| | |
|------------|--------------------|
| 寸法 : 本体 | 255 x 327 x 140 mm |
| 専用箱 | 300 x 400 x 220 mm |
| 重さ : 本体 | 約 3500 g |
| 本体を収納した専用箱 | 約 5392 g |

▶ 運搬時のご注意

本製品の持ち運びや発送をする際は、必ず専用台座に載せたまま、付属の保護カバーをかぶせてください。



日本スリービー・サイエンティフィック株式会社

〒950-1135 新潟県新潟市江南区曾野木2丁目5番18号

Tel:0120-300-056, Fax: 025-282-3229, www.3bs.jp